

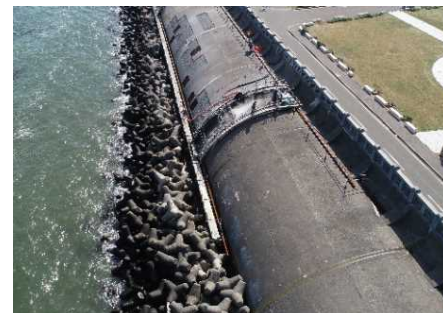
稚内港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

稚内港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、稚内港など管内の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



歴史的構造物「北防波堤ドーム」の保全と活用

稚内港の北防波堤ドームは、1936年に竣工した岸壁の防護施設であり、古代ローマ建築を彷彿させる半アーチ式ドームです。土木学会選奨土木遺産、北海道遺産にも選定されている歴史的構造物であり、現在は自治体や女性ネットワークと連携したイベントや観光客で賑わう交流拠点としての役割も担っています。将来に渡り現況の姿を保全し、確実に港湾施設の機能を発揮できるよう整備を進めています。



地域の持続可能な水産業を促進

オホーツク海に面する宗谷港、枝幸港では、基幹産業である水産業の一大拠点として重要な役割を担っております。

枝幸港では屋根付き岸壁の整備を進めており、水産物の品質確保により、更なる輸出促進を目指し、2030年の農林水産物・食品の輸出額5兆円の政府目標達成に貢献していきます。

また、宗谷港においても、利用船舶が多く、小型船の混雑を解消し効率的な水揚げを行うため、係留施設等の整備を進め、水産業を支えています。



離島における産業とくらしを守る

利尻島(鴛泊港、沓形港)、礼文島(香深港)には、本土と離島間を結ぶ利礼航路が就航しています。島民の生活に欠くことができない人流・物流拠点として重要な航路であるとともに、観光産業も支えています。

島民の暮らしを支えるフェリーの安全な入出港、また、離島の地域経済を支える港湾貨物や基幹産業である水産業の振興のため、稚内港湾事務所では、防波堤や岸壁などの整備を進めています。

